

令和5年5月理事会議事録速報

取締役会と同時開催なので、別途役員会欄に掲載の役員会便りと同一内容です。

開催日時	令和5年5月27日 午後4時		開催場所	ブリックアンドウッドクラブ	
出席者 (敬称略・議長以外各50音順) リモート参加も議決権を有す。委任は理事会のみ	取締役兼理事 11名	議 場 田井 (理事長)、木内 (代表取締役・副理事長)、草深、小宮山、中川、新田見、橋本、村岡 リモート 岡崎、生木 欠席 井上		以上8名出席 以上2名出席 合計10名出席 以上欠席合計1名	
	執行役員兼理事 2名	議 場 無し リモート 寺島、野村 欠席 無し		以上 2名出席	
	最高顧問兼理事	議 場 坂		以上 1名出席	
	以上理事14名			委任状、代理を含め合計13名出席	
	監査役兼監事2名	議場 角川 リモート 無し 欠席 高橋		以上1名出席 以上欠席合計1名	
	傍聴	理事でない執行役員5名	議 場 井口、篠本、雪、本間、片岡		以上 5名出席
	MFC管理組合	議 場 出席無し		出席0名	
	事務局	議 場 松本		以上 1名出席	
	その他	議 場 中村(ハンディキャップ委)、中島 (株)コジロー代取)		以上 6名出席	

理事会は議事を行うための定足数を充足、取締役会も議決を行うための定足数を充足。

議題

理事会

1. 委員会報告

- ① 競技委員会 (寺島委員長)
- ② クラブライフ委員会 (片岡委員代読)
 - ・5/20に行なわれた開場記念祭の結果に関する報告 (45組・約170名が参加し、盛会の下、大過なく終了した。) がなされた。
 - ・7/22開催予定のプールサイドのタペ、7/29開催予定のYOKOSOコンペの準備に関する進捗報告があった。今回は新入会員の歓迎を主旨として開催する予定。
 - ・草深理事より、YOKOSOコンペの位置付けの整理に関する井上委員長案について説明がなされた。(→新しいメンバーと既存メンバーの交流、委員会への参加促進という趣旨とともに、新しいメンバーが募集に関して動いてもらう必要があることから、その動機付けをしっかりと行う場でもあると整理し、その観点からはメンバーになり得るゲストも歓迎することとした。)
- ③ グリーン委員会 (村岡委員長)
 - ・当日の朝に開催されたコース管理とのミーティングについて、報告がなされた。

- ・バンカーの法面を登るプレーヤーが後を絶たない。クラブ全体としてマナーの啓蒙・徹底が必要ではないか。

- ・全般的にティーグエリアの状態が芳しくない。種々の制約から打てる範囲が狭く同じ場所が踏まれるため、そこが痛む結果となる。日当たりの確保等により打てる面積を広げる必要があるが、土木工事によるティーグエリアの拡張も検討すべき段階に来ているのではないか。

④ 広報委員会（野村委員長）

- ・ニュースレターを発行したので、是非ご覧いただきたい。

- ・6/10に委員会としてのコンペを開催予定。

⑤ ジュニア委員会（橋本委員長）

- ・4/23のジュニアレッスンは26名が参加。プロ5名、見守り先生5名では目が行き届かないことから、早急にジュニア委員を増やし、見守り先生を増やす必要がある。

⑥ ハンディキャップ委員会（中川委員長）

⑦ フェローシップ委員会（小宮山委員長）

- ・4/25に開催されたフェローシップ委員会（グリーン委員会とのコラボ開催）について、報告がなされた。

- ・2003年に発出されたクラブに関する書籍の紹介。メンバーによるクラブと言う原点に立ち戻る意味で一読の価値あり。

- ・カートがカート道路とコースの境目を走っているため、その部分のコースの傷みが酷い、との指摘があり、広報から発信してはどうか。

- ・フロント前におけるクラブ標語の掲示については、現在和訳バージョンを作成中。

取締役会

開催日時 令和5年5月27日（土曜日） 午後4時～

開催場所 ブリックアンドウッドクラブ レストラン 今回も理事会と同時開催。
リモート参加を可能とし、リモート参加者も出席者として議決権を有する。

議題

議決事項

(1) 株式譲渡承認について

→ 優先株1株・普通株3株の譲渡が承認された。

報告・協議事項

(1) 最近のゴルフ場の売り上げ状況について

	本年4月	前年	前年比	内平日	前年比	内土日祝	前年比
営業日数（日）	29	29	0	19	0	10	9
来場者数合計（人）	2,666	2,502	+164	1,414	+116	1,252	+48
内 M	1,388	1,444	-56	532	+18	856	-74
G	833	815	+18	465	-82	368	+100
V	175	88	+87	147	+65	28	+22
N	270	155	+115	270	+115	0	0
ゴルフ場売上高（万円）	2,551	2,233	+318	1,299	+124	1,252	+194

4月の来場者数は2,666名で前年比164名増加した。（無料来場者が55名減少なので有料来場者は219名増加）平日はネットとビジターの増加を主因に116名増加し、土日祝日はメンバーが減少したがゲストとビジターの増加により48名増加した。

この結果、ゴルフ場売上は、2,551万円で前年比318万円増加した。

期初9月から4月迄8か月累計では、来場者数が20,491名で前年同期間比381名減少（無料来場者数が226名減少なので、有料来場者は92名減少）、売上は18,267万円で、同期間比319万円減少。

5月26日迄の経過

来場者数は2,514名で、前年同日比135名の減少。但し、無料来場者が93名減少なので、有料来場者は42名の減少。ゴルフ場売り上げは2,403万円で前年同日比78万円減少中であり、前年並み確保は予断を許さない。

(2) 最近月の入退会状況について

4月入会は2口3名で、期初来合計では14口18名の入会があった。

期中目標30口迄あと16口。

5月は21日現在で1口1名の入会があった。

親族会員の入会は、4月末現在で期初来、親族会員が1名、ジュニア親族会員が3名入会。

(3) 第37期中間決算について

37期中間決算は先月の取締役会で報告済の通り、売上高が来場者数の減少によりコース使用用収入が5,380千円減少したものの、入会金や名変料収入やその他収入の増加により前年度中間比期395千円増加した。しかし販売費一般管理費は、昨年のベースアップや人材確保のため給与と雑給が4,509千円し、水道光熱費が2,956千円増加等により5,641千円増加したため、経常利益が前年度中間期比5,429千円悪化し、1,485千円赤字になった。

例年下半期は来場者数が増えることもあり、上期に比べ利益が増えるが、今年は特に電力料金や仕入れコストの値上がりに加え、人材確保のため給与のベースアップも例年比多額になることは確実なので、37期年間の経常利益は36期の24百万円(減価償却前経常利益50百万円)を維持することは容易でない。

年会費については、12月の理事会で11月の株主総会で報告された8月末の決算で出た減価償却前経常利益からその他の引当金を調整し、設備投資を引いた金額を基準値として、基準値が40百万円を5百万円以上下回ると、年会費を翌期から引上げる(場合によっては当期追徴)ことになっているので、これに該当する公算が高い。年会費を据え置くためには、来場者数と新入会員の増加が必要だが、費用の節減は外的要因が強く思うに任せず、設備投資節減も老朽化し使用不能になった設備の更新が出るので節減は思うようには出来ない状況にある。

→(3)について、以下の論議がなされた。

- ・このままの売り上げ状態が続くと、次々期からの年会費に影響する可能性が有ることを、各委員会の場でご周知いただく必要がある。
- ・このまま手をこまねいての年会費の値上げに至ることは避けたい。来場者数の増加と新入会員獲得目標の達成に向け、目に見える努力が必要ではないか。
- ・そのために、本間支配人におかれては、売り上げとメンバー募集の目標達成に集中していただきたい。この先2年間で80名程度の退会が予想される中、このままでは売り上げの減少が必至の状況。コース管理面は木内社長、村岡委員長に委ねるなどして、下期は営業活動に徹していただきたい。
- ・クランフレンドについて下記意見が出され、本間さんを中心に制度の改定案を策定し、持ち回り審議にかけることが決定された。
 - ・クランフレンドのメンバー化に向けた具体的な方策を打ち出すべきではないか。
 - ・クランフレンドからも年会費を徴収する等、一部有料化を検討してはどうか。
 - ・クランフレンドについては、①年会費を徴収する、②利用時の単価を引き上げる、という二つの選択肢が考えられる。
 - ・年会費を徴収する方向で制度を変えるのであれば、期が変わる9月が望ましい。

(4) コースの状況について

理事会のグリーン委員会報告に補足するものが有れば報告。→特に無し。

(5) 施設の有効利用について

→特に無し。

(6) ミュアヘッド・フィールズ、ミュアヘッド・ミュージアムに関して

→特に無し。

(7) その他

→特に無し

→上記(1)から(7)について報告を受け、協議の結果了承した。

以 上